



生野中学校の図書室では生徒自らが選定したおすすめの本を紹介



今後、「朝来子どもの読書活動推進計画」の策定も見据え、学校における読書活動の充実に向けた「読書活動推進事例集」（平成21年3月兵庫県教育委員会発行）を活用したり、「兵庫県子どもの読書活動推進連絡会」と交流します。さらに、学校図書館司書などを対象とする全県研修講座に参加するなど、県と連携を密接にしながら朝来市の読書活動を総合的に推進し、子どもたちに豊かな心をはぐくむ取り組みを進めていきます。

今後、市内の図書館と学校図書館とがネットワークを組み、市民挙げて読書を共有できるシステムの研究をしながら、朝来市の文化的水準のさらなる向上を目指します。

読書で感じた言葉の大切さを語り「但馬中学生からのメッセージ 私の主張 2010」で村上文香さん（生野中3年）が、見事最優秀賞を獲得し、但馬地区代表として県大会に出場。

村上さんは、学校での取り組みを紹介しつつ、「読書は私たちに豊かな言葉と心を与えてくれる。どんな時代が来ても、人は言葉によりつながり、言葉なくしてつながりは有り得ない。たとえ10分間でも朝の読書を大切にし、言葉と心を今後も育てたい」と発表しました



竹田小学校は、毎週水曜日は「ノーテレビノーゲームデー」として読書活動を推進。保護者の方にお話を伺いました。「ノーテレビノーゲームデー」を実践し始めてから、もうすぐ2年になろうとしています。家族で団らん…というのは、なかなか難しいのですが、読書は欠かさずしています。最初のうちは、何を读もうか…から悩んでいましたが、今はそれぞれ好きなタイプの本があり、自分たちから読んでいます。本を読むと、自分たちの世界が広がるという事に気付いて欲しいと思いが、読書をする息子たちを微笑ましく見えています